

(生涯学習講座ご案内)歴史・自然講座 No.2

「小野芳彦日記に見る

明治時代の結婚式」

講師:江崎 隆司 氏

★日時 令和8年6月18日(木) 13:30~15:00

★会場 太地町公民館 視聴覚室

★定員 20名(6月17日までに公民館59-2335へお申し込みください)

小野芳彦(旧制新宮中学校長・郷土史家)は、明治24年から昭和7年に亡くなるまで日記をつけていました。新宮中学の学校行事をはじめ、新宮の町の出来事や妻「よしの」の故郷、下里の佐藤家の商いなどを克明に綴っています。

今回は、明治32年、佐藤家に色川の玉井家から婿養子を迎える日の日記を読み解きます。その日の流れは次の通りです。

4月、午前7時に佐藤家のお迎えの使者5人が高芝を出発。色川の玉井家で昼食をいただき、本座敷で婿殿に初めて面会、冷酒で式を済まし、饗宴、玉井家を出発したのが午後4時。玉井家の関係者9人と共に高芝に着き、双方の来賓を交えて式が始まったのが午後10時頃、祝宴が終わったのは午前2時頃でした。